

第1章 指定緊急避難場所等

1. 防災公共推進計画

本章より、各市町村の地区ごとの検討結果について掲載する。各地区の検討結果について、共通事項を下記に述べる。

①用語の意味について

この計画において、使用する用語の意味等は下記のとおりとする。

| 用語 | 用語の意味等 |
|--------------|---|
| 避難場所（※1） | 災害によって短期間の避難生活を余儀なくされた場合に、一定期間の避難生活を行う施設。 |
| 避難目標地点 | 津波の危険から避難するために、津波浸水想定区域の外に定める場所をいう。とりあえず生命の安全を確保するために避難の目標とする地点。 |
| 防災拠点 | 災害時に防災活動の拠点となる施設や場所のことで、県庁舎や各市町村の市役所・役場、警察署、消防署、救急告示病院、空港、港湾、鉄道駅前広場、大規模市場等がある |
| 津波浸水想定区域（※2） | 青森県において公表した最大クラスの津波（レベル2津波）による想定浸水区域と、比較的発生頻度の高い津波（レベル1津波）による想定浸水区域を重ね合わせた区域。 |
| 危険区域 | 土砂災害特別警戒区域、警戒区域（急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険渓流、地すべり危険箇所） |
| 危険箇所 | <ul style="list-style-type: none"> ・耐震対策が未実施な橋梁 ・河川改修計画断面に適合していない橋梁 ・道路防災点検による要対策箇所 ・土砂災害特別警戒区域、警戒区域（急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険渓流、地すべり危険箇所） ・山腹崩壊危険地区 ・地すべり危険地区・箇所 ・崩壊土砂流出危険地区 |

※1 平成25年6月の災害対策基本法改正において、災害時における緊急の「避難場所」と、一定期間滞在して避難生活をする「避難所」とが区別されているが、本計画では、これらを区別することなく「避難場所」と定義している。

※2 津波浸水想定区域の基となった津波シミュレーションは10mメッシュ地形データを用いた計算結果によるものであり、部分的な地形の凹凸、幅の狭い河川・水路等のデータが反映されない等のため、浸水域が異なる場合がある。

②地区名について

孤立する恐れのある集落・避難場所を有する地区や津波浸水想定区域を有する地区については、地区名を掲載している。地区名の隣に括弧書きでその地区の抱える課題について掲載している。

- ・孤立・・・孤立する恐れのある集落・避難場所を有する地区を意味する
- ・津波浸水想定区域・・・津波浸水想定区域を有する地区を意味する

※防災拠点である役場までの道路交通が分断される恐れのあることを孤立と定義

③災害の想定について

避難場所や避難経路を検証する上で、災害を想定する必要があるが、本計画書を策定するに当たり、起こりえる最大の自然災害を想定した。例えば海岸線を有する地区においては、大雨災害・津波災害が同時に起こり、土砂崩れや津波浸水が起こることを想定した。

④孤立した際の物資の輸送手段について

災害時には、避難場所へ住民は避難するため、孤立した際は、避難場所と外部で物資の輸送が可能となる必要がある。このため、避難場所と臨時ヘリポートや漁港が安全にアクセス可能かを検証した。(避難場所は孤立しないが、人家のみが孤立する場合は、人家とのアクセスについて検証)

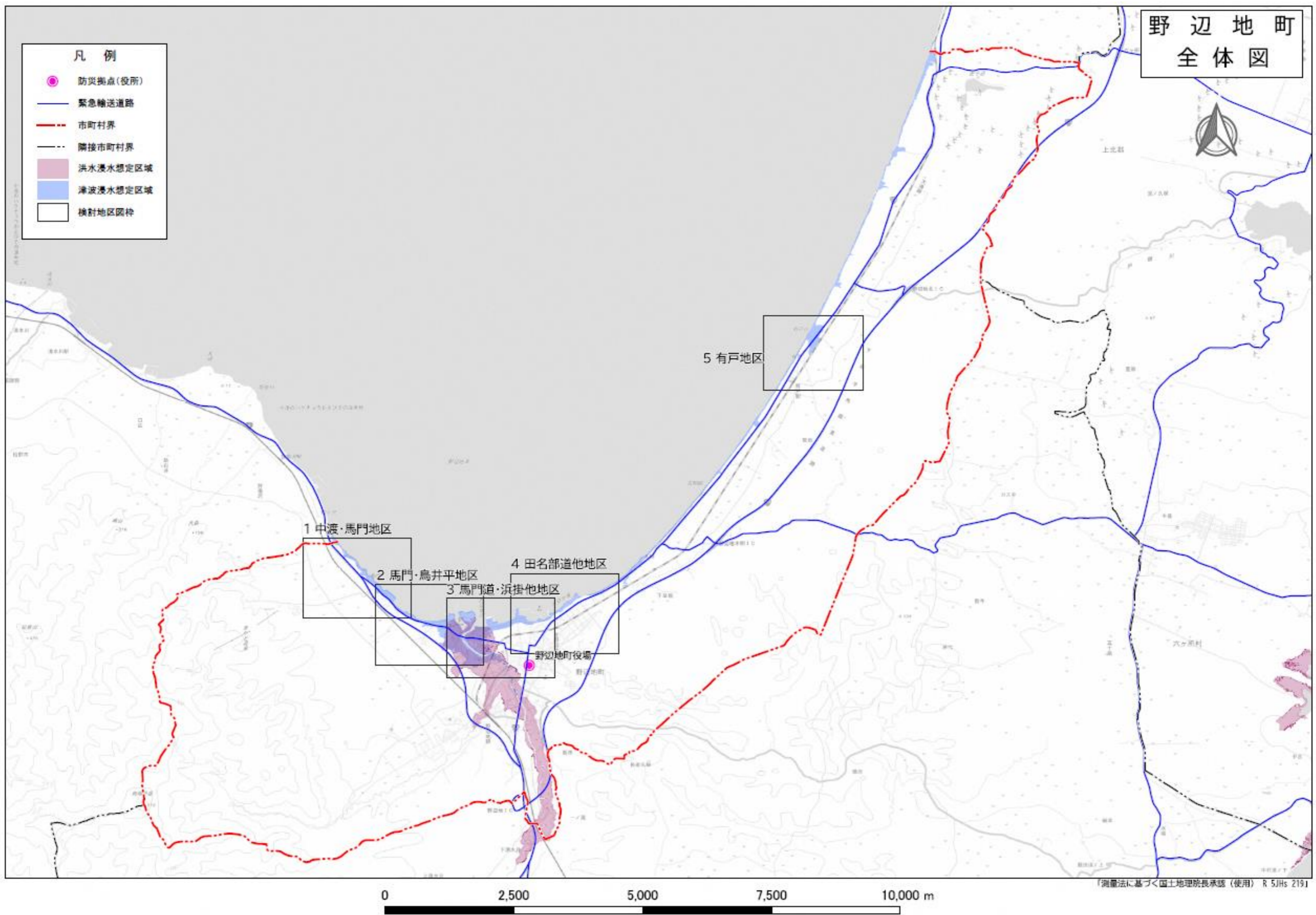
⑤検討地区の図面について

図面には、防災拠点（役場や支所）や市町村の地域防災計画に記載されている避難場所、各種危険箇所、避難場所・防災拠点までの避難経路等を掲載している。県民局ワーキングでは、避難場所・避難経路の検証を行い、必要な対策について抽出している。

抽出方法は、避難場所・避難経路に影響を及ぼす危険箇所について、現状の斜面状況をP25のとおり調査し、必要な対策について設定している。



▲図面に掲載している情報



防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【野辺地町】 検討結果概要版

1.概要

野辺地町は、むつ湾沿岸に町が形成されており、町中心部に危険箇所が集中しているが、対策済の箇所が多く、町を囲むように道路網も充実しているため、孤立する恐れのある集落・避難場所はない。

また、役場から、上北地域の防災拠点が集積する十和田市とは、国道279号、国道4号によって連結されているが、この路線には危険箇所は無く、道路が分断される恐れはない。

しかし、津波浸水想定図によると、漁港など一部の海岸地域において、津波による浸水が想定されている。また、洪水浸水想定区域図を見ると、野辺地川、枇杷野川周辺が洪水時に浸水する恐れがある。

平成25年度に県民局及び市町村ワーキングを実施し防災公共推進計画を策定したところだが、今回の更新では、野辺地町における孤立する恐れのある集落や避難場所が存在する地区、洪水や津波により浸水が想定される地区の全6地区において検討を実施した。

2.避難前提条件の検討

| 2-1.津波影響開始時間・第一波到達時間・最大波到達時間 | | | | | | | | | |
|------------------------------|-------|------|-------------------|--------|-------|----------|-------|---------|---------|
| 市町村 | 地域海岸 | 代表地点 | 地区名 | 前回津波時間 | | 見直し後津波時間 | | | |
| | | | | 津波伝搬時間 | | 津波影響開始時間 | | 第一波到達時間 | 最大波到達時間 |
| | | | | +20cm | -20cm | +20cm | -20cm | | |
| 野辺地町 | 陸奥湾南東 | 馬門 | ①中渡・馬門他 | 72分 | 229分 | 10分 | 10分 | 41分 | 159分 |
| 野辺地町 | 陸奥湾南東 | 米内沢 | ②馬門・鳥井平他、③馬門道・浜掛他 | 73分 | 231分 | 12分 | 12分 | 43分 | 161分 |
| 野辺地町 | 陸奥湾東 | 木明 | ④田名部道他 | 71分 | 227分 | 22分 | 22分 | 161分 | 161分 |
| 野辺地町 | 陸奥湾東 | 明前 | - | 71分 | 226分 | 30分 | 30分 | 162分 | 162分 |
| 野辺地町 | 陸奥湾東 | 有戸 | ⑤有戸 | 124分 | 233分 | 40分 | 40分 | 157分 | 157分 |

| 2-2.避難可能範囲(津波影響開始時間・第一波到達時間) | | | | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|----------|--------|--------|------|--------|----------------|------|--------|
| 代表地点 | 地区名 | 津波影響開始時間 | 避難開始時間 | 避難可能時間 | 秒換算 | 歩行速度 | 避難可能距離 ※上限500m | /補正率 | 避難可能範囲 |
| 馬門 | ①中渡・馬門他 | 10分 | 2分 | 8分 | 480秒 | 1.0m/秒 | 480m | 1.5 | 300m |
| 米内沢 | ②馬門・鳥井平他、③馬門道・浜掛他 | 10分 | 2分 | 8分 | 480秒 | 1.0m/秒 | 480m | 1.5 | 300m |
| 木明 | ④田名部道他 | 10分 | 2分 | 8分 | 480秒 | 1.0m/秒 | 480m | 1.5 | 300m |
| 明前 | - | 10分 | 2分 | 8分 | 480秒 | 1.0m/秒 | 480m | 1.5 | 300m |
| 有戸 | ⑤有戸 | 10分 | 2分 | 8分 | 480秒 | 1.0m/秒 | 480m | 1.5 | 300m |

※洪水の避難前提条件については、野辺地町防災マップによるものとする。

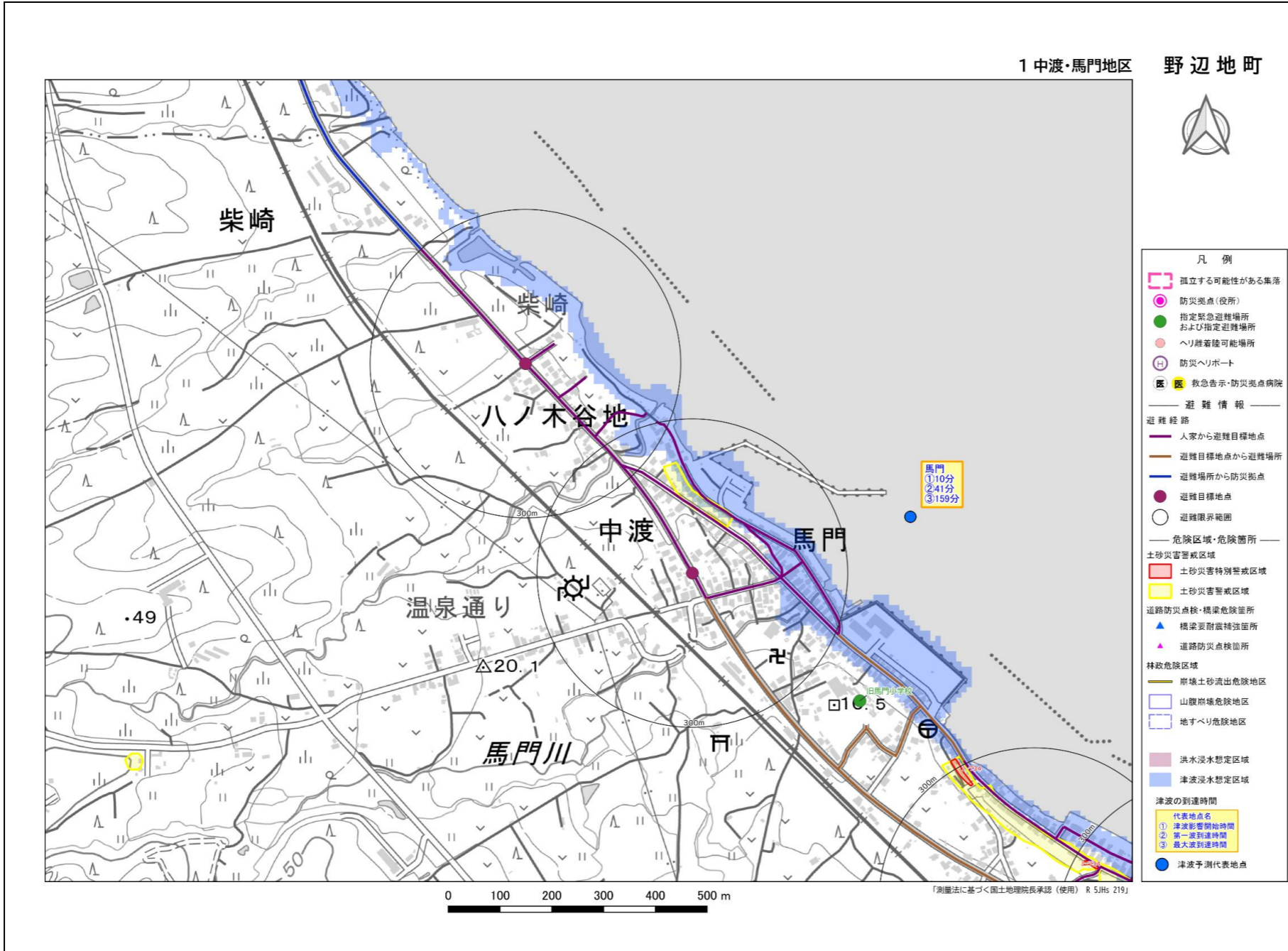
3.施策の取組状況

| 3-1.避難場所確保の取組 | | | | | |
|---------------|------|------|------|-----------|--------|
| 地区名 | 事業種別 | 箇所番号 | 実施主体 | 事業名(事業箇所) | 施策実施状況 |
| - | - | - | - | - | - |
| 3-2.避難経路確保の取組 | | | | | |
| 地区名 | 事業種別 | 箇所番号 | 実施主体 | 事業名(事業箇所) | 施策実施状況 |
| - | - | - | - | - | - |
| 3-3.輸送手段確保の取組 | | | | | |
| 地区名 | 事業種別 | 箇所番号 | 実施主体 | 事業名(事業箇所) | 施策実施状況 |
| - | - | - | - | - | - |
| 3-4.その他の取組 | | | | | |
| 地区名 | 事業種別 | 箇所番号 | 実施主体 | 事業名(事業箇所) | 施策実施状況 |
| - | - | - | - | - | - |
| 3-5.孤立状況解消の取組 | | | | | |
| 地区名 | 事業種別 | 箇所番号 | 実施主体 | 事業名(事業箇所) | 施策実施状況 |
| - | - | - | - | - | - |

4.検討結果一覧表

| 地区名 | 孤立集落数 | | 孤立避難場所 | 津波浸水区域 | 利用可能な避難場所 | 物資の輸送手段 | 施策実施状況数 | | |
|------------|-------|----|--------|--------|------------------|---------|---------|-----|-----|
| | 地震 | 大雨 | | | | | 事業完了 | 事業中 | 未実施 |
| ①中渡・馬門他 | - | - | - | ○ | 旧馬門小学校 | - | - | - | - |
| ②馬門・鳥井平他 | - | - | - | ○ | 旧馬門小学校 | - | - | - | - |
| ③馬門道・浜掛他 | - | - | - | ○ | 野辺地中学校 | ヘリポート | - | - | - |
| ④田名部道他 | - | - | - | ○ | 若葉小学校 | - | - | - | - |
| ⑤有戸 | - | - | - | ○ | 有戸地区学習等供用センター | - | - | - | - |
| (洪水浸水予測地区) | - | - | - | - | 野辺地町洪水ハザードマップによる | - | - | - | - |
| 小計 | 0 | 0 | 0 | 5 | | | 0 | 0 | 0 |

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

| 2-1.利用可能な避難場所（地区内） | | |
|--------------------|---------|-------|
| 避難所・避難場所名 | 避難所種別 | |
| 旧馬門小学校 | 指定避難所 | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 2-2.利用可能な避難場所（地区外） | | |
| 避難所・避難場所名 | 地区名 | 避難所種別 |
| | | |
| | | |
| | | |
| 2-3.利用不可な避難場所 | | |
| 避難所・避難場所名 | 利用不可の理由 | 避難所種別 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

3.避難経路の確保

・旧馬門小学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。

| 事業種別 | 箇所番号 | 実施主体 | 事業名(事業箇所) | 施策実施状況 |
|------|------|------|-----------|--------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

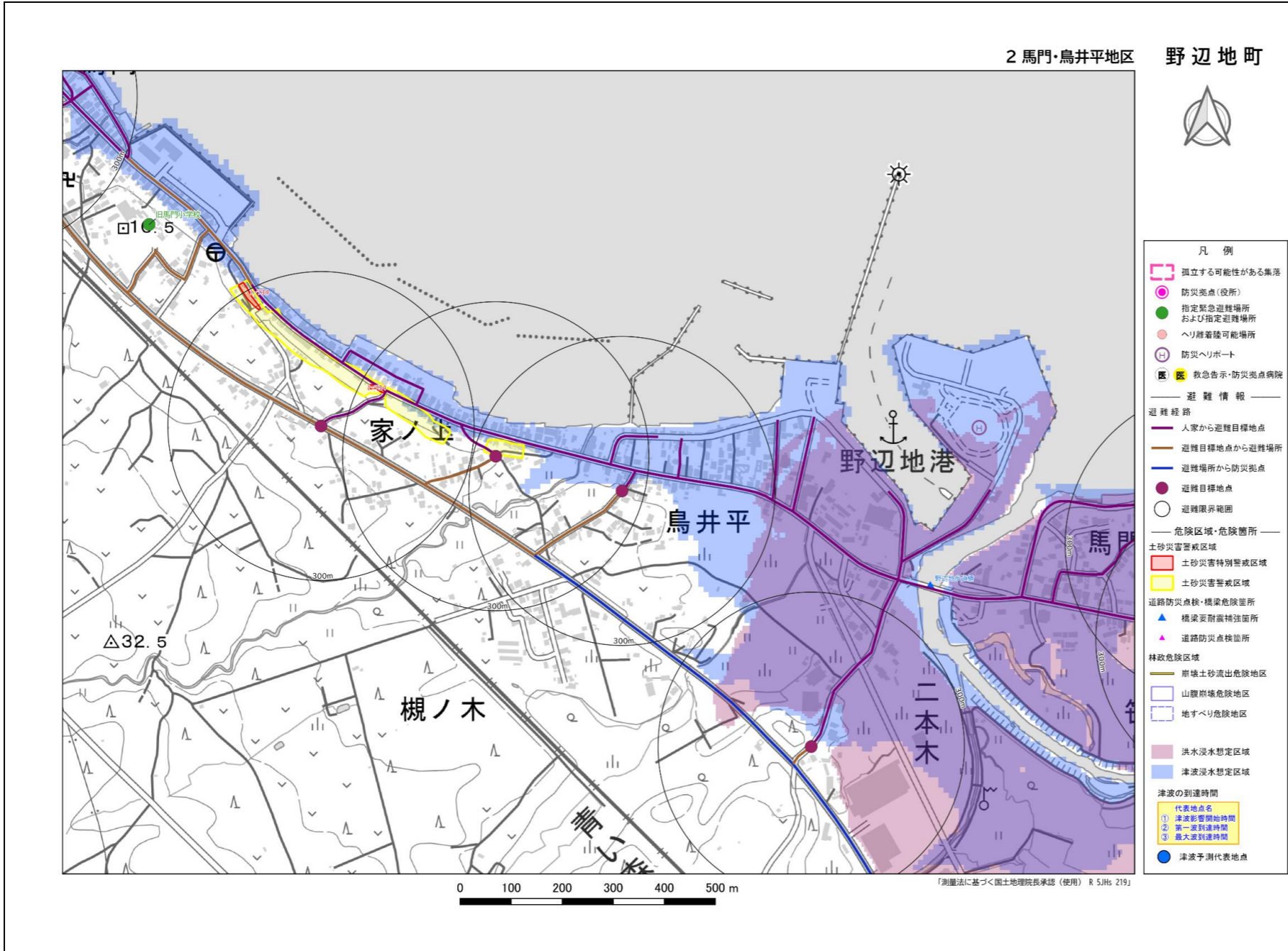
| 地区名 | 比較検討 | ①避難目標地点 | ②避難限界範囲 | ③避難場所 | ④避難経路 | ⑤物資の輸送手段 | ⑥孤立解消の方策 | ⑦孤立の判定 |
|--------------------|------|-----------------------------------|---|----------------------|--|----------|----------|--------|
| ①中渡・馬門地区 (津波浸水) | 検討前 | ・避難目標地点は2箇所。 | ・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要) | ・避難場所は1箇所指定されており、安全。 | ・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はある。 | | | |
| | 検討後 | ・避難目標地点は2箇所。 ・浸水区域外にあるため安全である。 | ・避難限界範囲は300mで変わらない。 | ・避難場所は旧馬門小学校を利用する。 | ・旧馬門小学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。 | | | |

4.物資の輸送手段の確保

| |
|--|
| |
|--|

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【野辺地町】 ②馬門・鳥井平地区（津波浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

| 2-1.利用可能な避難場所（地区内） | | |
|--------------------|----------|-------|
| 避難所・避難場所名 | 避難所種別 | |
| - | - | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 2-2.利用可能な避難場所（地区外） | | |
| 避難所・避難場所名 | 地区名 | 避難所種別 |
| 旧馬門小学校 | ①中渡・馬門地区 | 指定避難所 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 2-3.利用不可な避難場所 | | |
| 避難所・避難場所名 | 利用不可の理由 | 避難所種別 |
| - | - | - |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

3.避難経路の確保

・隣接する地区の旧馬門小学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。

| 事業種別 | 箇所番号 | 実施主体 | 事業名(事業箇所) | 施策実施状況 |
|------|------|------|-----------|--------|
| - | - | - | - | - |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

【地区の検討結果】

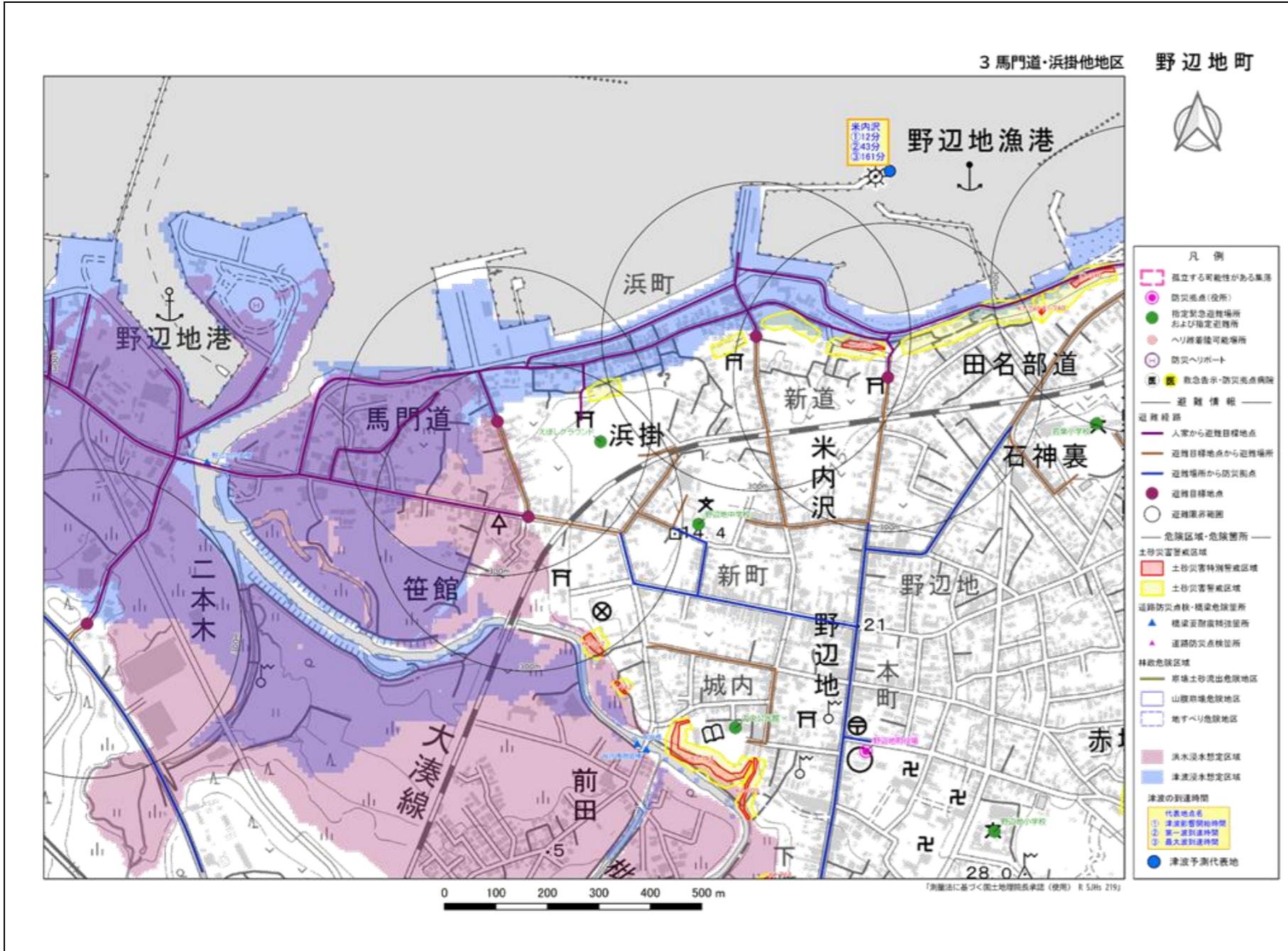
| 地区名 | 比較検討 | ①避難目標地点 | ②避難限界範囲 | ③避難場所 | ④避難経路 | ⑤物資の輸送手段 | ⑥孤立解消の方策 | ⑦孤立の判定 |
|---------------------|------|---|---|---------------------------|---|----------|----------|--------|
| ②馬門・鳥井平地区 (津波浸水) | 検討前 | ・避難目標地点は3箇所。 | ・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要) | ・避難場所は地区内には指定されていない。 | ・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はある。 | | | |
| | 検討後 | ・避難目標地点は3箇所。 ・1箇所が浸水区域内にあるため、速やかな避難行動が必要である。 | ・避難限界範囲は300mで変わらないが、避難困難区域もあるため、速やかな避難行動が必要である。 | ・避難場所は隣接する地区の旧馬門小学校を利用する。 | ・隣接する地区の旧馬門小学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。 | | | |

4.物資の輸送手段の確保

| |
|--|
| |
|--|

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【野辺地町】 ③馬門道・浜掛他地区（津波浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

| 2-1.利用可能な避難場所（地区内） | |
|--------------------|----------|
| 避難所・避難場所名 | 避難所種別 |
| 野辺地中学校 | 指定避難所 |
| 中央公民館 | 指定避難所 |
| 野辺地小学校 | 指定避難所 |
| えぼしグラウンド | 指定緊急避難場所 |

| 2-2.利用可能な避難場所（地区外） | | |
|--------------------|-----|-------|
| 避難所・避難場所名 | 地区名 | 避難所種別 |
| - | - | - |
| - | - | - |
| - | - | - |
| - | - | - |

| 2-3.利用不可な避難場所 | | |
|---------------|---------|-------|
| 避難所・避難場所名 | 利用不可の理由 | 避難所種別 |
| - | - | - |
| - | - | - |
| - | - | - |
| - | - | - |

3.避難経路の確保

・野辺地中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。

| 事業種別 | 箇所番号 | 実施主体 | 事業名(事業箇所) | 施策実施状況 |
|------|------|------|-----------|--------|
| - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - |

【地区の検討結果】

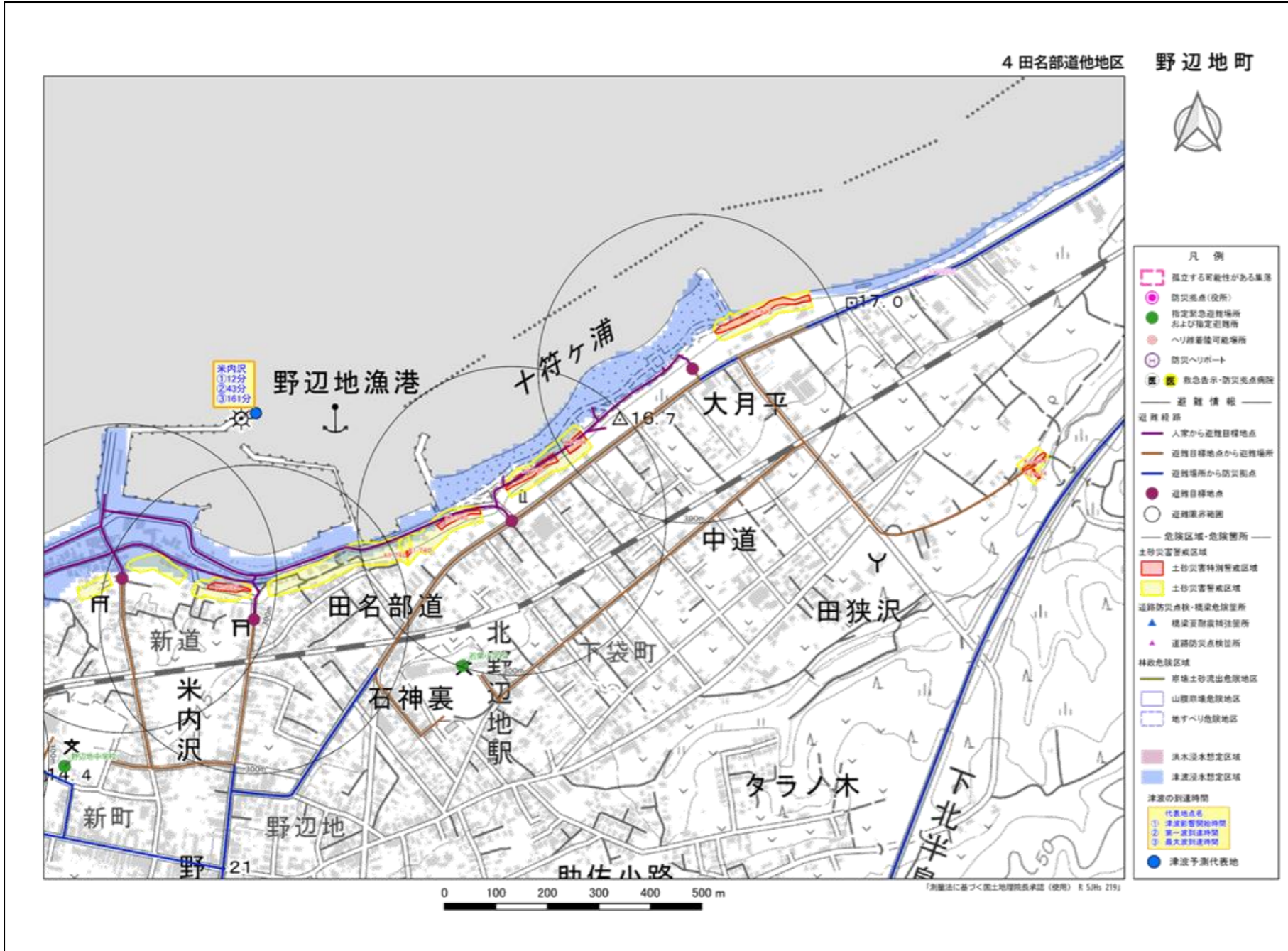
| 地区名 | 比較検討 | ①避難目標地点 | ②避難限界範囲 | ③避難場所 | ④避難経路 | ⑤物資の輸送手段 | ⑥孤立解消の方策 | ⑦孤立の判定 |
|------------------|------|---|---|----------------------|--|----------------------------------|----------|--------|
| ③馬門道・浜掛他地区（津波浸水） | 検討前 | ・避難目標地点は3箇所。 | ・避難限界範囲は300m。（津波影響開始時間が変わるため再検討が必要） | ・避難場所は1箇所指定されており、安全。 | ・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はある。 | ・地区内のヘリポート1箇所利用可能。 | | |
| | 検討後 | ・避難目標地点は3箇所。 ・1箇所が浸水区域内にあるため、速やかな避難行動が必要である。 | ・避難限界範囲は300mで変わらないが、避難困難区域もあるため、速やかな避難行動が必要である。 | ・避難場所は野辺地中学校を利用する。 | ・野辺地中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。 | ・孤立する恐れはないが、えぼしグラウンドはヘリ離着陸可能である。 | | |

4.物資の輸送手段の確保

・孤立する恐れはないが、えぼしグラウンドはヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【野辺地町】④田名部道他地区（津波浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

| 2-1.利用可能な避難場所（地区内） | | |
|--------------------|---------|-------|
| 避難所・避難場所名 | 避難所種別 | |
| 若葉小学校 | 指定避難所 | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 2-2.利用可能な避難場所（地区外） | | |
| 避難所・避難場所名 | 地区名 | 避難所種別 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 2-3.利用不可な避難場所 | | |
| 避難所・避難場所名 | 利用不可の理由 | 避難所種別 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

3.避難経路の確保

・若葉小学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

| 事業種別 | 箇所番号 | 実施主体 | 事業名(事業箇所) | 施策実施状況 |
|------|------|------|-----------|--------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

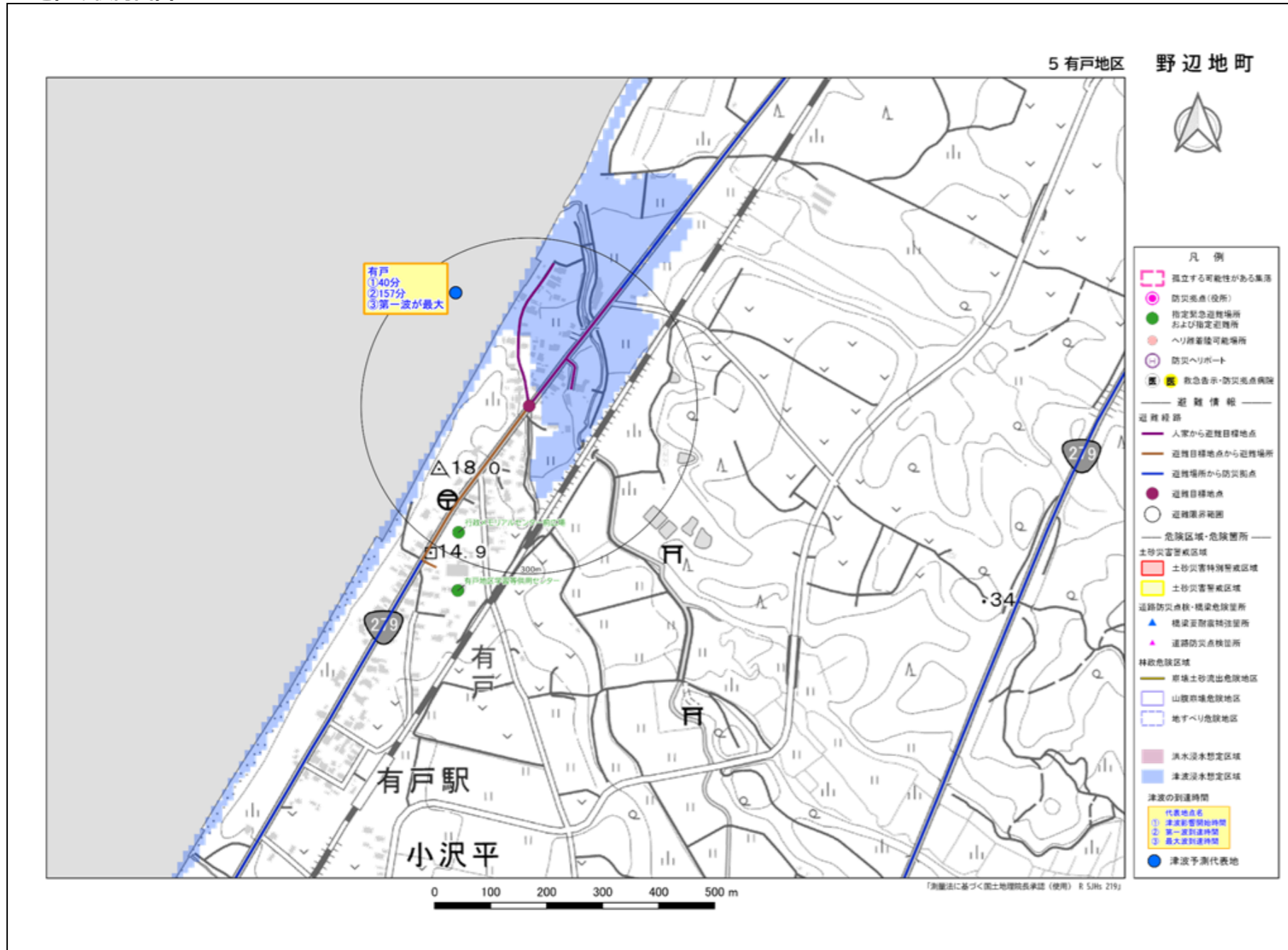
| 地区名 | 比較検討 | ①避難目標地点 | ②避難限界範囲 | ③避難場所 | ④避難経路 | ⑤物資の輸送手段 | ⑥孤立解消の方策 | ⑦孤立の判定 |
|--------------------|------|-----------------------------------|---|----------------------|---------------------------------|----------|----------|--------|
| ④田名部道他地区 (津波浸水) | 検討前 | ・避難目標地点は2箇所。 | ・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要) | ・避難場所は1箇所指定されており、安全。 | ・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。 | | | |
| | 検討後 | ・避難目標地点は2箇所。 ・浸水区域外にあるため安全である。 | ・避難限界範囲は300mで変わらない。 | ・避難場所は若葉小学校を利用する。 | ・若葉小学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。 | | | |

4.物資の輸送手段の確保

| |
|--|
| |
|--|

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【野辺地町】⑤有戸地区（津波浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

| 2-1.利用可能な避難場所（地区内） | | |
|--------------------|---------|-------|
| 避難所・避難場所名 | 避難所種別 | |
| 有戸地区学習等供用センター | 指定避難所 | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 2-2.利用可能な避難場所（地区外） | | |
| 避難所・避難場所名 | 地区名 | 避難所種別 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 2-3.利用不可な避難場所 | | |
| 避難所・避難場所名 | 利用不可の理由 | 避難所種別 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

3.避難経路の確保

・有戸地区学習等供用センターへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

| 事業種別 | 箇所番号 | 実施主体 | 事業名(事業箇所) | 施策実施状況 |
|------|------|------|-----------|--------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

| 地区名 | 比較検討 | ①避難目標地点 | ②避難限界範囲 | ③避難場所 | ④避難経路 | ⑤物資の輸送手段 | ⑥孤立解消の方策 | ⑦孤立の判定 |
|-----------------|------|-----------------------------------|---|---------------------------|---|----------|----------|--------|
| ⑤有戸地区 (津波浸水) | 検討前 | ・避難目標地点は1箇所。 | ・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要) | ・避難場所は1箇所指定されており、安全。 | ・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。 | | | |
| | 検討後 | ・避難目標地点は1箇所。 ・浸水区域外にあるため安全である。 | ・避難限界範囲は300mで変わらない。 | ・避難場所は有戸地区学習等供用センターを利用する。 | ・有戸地区学習等供用センターへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。 | | | |

4.物資の輸送手段の確保

| |
|--|
| |
|--|